

森林官の一日

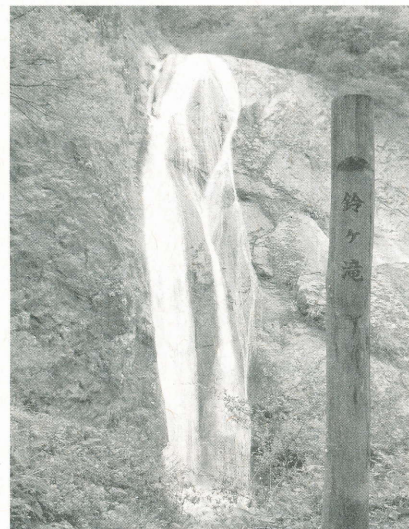
下越森林管理署村上支署 塩野町森林事務所

森林官 菅原聖子



美しい日本海に浮かぶ粟島

当森林事務所は、新潟県北部の鮭の遡上で有名な三面川が流れる岩船郡朝日村にあります。管内は山北町、朝日村にまたがる国有林約6,820㍍であり、記憶に新しい国道7号線を通り止めた昨年(平成17年)の大雨による災害復旧工事が今も続き、巡検をしているといったる箇所でも小規模な崩壊地を見つけれられ、自然災害の恐ろしさをつくづく実感しています。



日本の滝百選「鈴ヶ滝」

島も望むことができません。現在、日本海に通じる林道工事が行われており、国道7号線から笹川流れまでの交通が便利になることが予想されています。

また、日本の滝百選に選ばれた「鈴ヶ滝」は、雄大な滝を中心とし四季を楽しむことが出来る、林道から徒歩数分で滝つぼまで行ける手軽さもあり、県内外から多くの観光客が訪れます。

更には村内を流れる「三面川」は江戸時代、日本で初めて鮭の保護養殖に成功し、独特な鮭文化を伝えている村上市へと流下しており、鮭は「森」と「湧き水」に誘われて川に上るとも言われ、上流部にある国有林は伝統文化に大きな役割を果たしています。

6月には「植物の生育を通じて地域の自然を考えよう」と地元小学生が3年前にブナの苗木を採取し、小学校で育てた苗木を山に返す創立百周年の記念植樹が行われました。

赴任して半年が過ぎ毎日の現場業務にも少しずつ慣れ、この間に思ったことは、どこに行っても「女性森林官」があまり知られていないことです。地域においては村内行事にも積極的に参加し、国有林のPRも含め「女性森林官」のPRもしてきました。しかし、地元の人が初めて訪ねて来た時は「旦那さんはいいますか?」と言う問いかけが始まります。



小学校で育てた苗木を山に返す 創立百周年の記念植樹

今では慣れてきたので、一通り説明のころは対応に困りました。森林官になって良かったと思うことは、毎日が新鮮で研修では知ることの出来ない多くのことを先輩や基幹作業職員、臨時作業員に指導してもらえるところです。当たり前のことですが、現場は同じ地形は無く、地域によっても全くちがいます。例を上げると、ここに赴任するまで「ヤマヒル」を見たことが無かったので実際に見た時は驚き、対処方法を教えてもらいました。また、地元の人と交流する中で、仕事以外の生活の知恵も教えてもらい、今でも役に立っていることがあります。

主たる業務は管理業務で、明治査定以来の未検測箇所が多くあり、境界業務を行うには「間」を「メートル」に直し測量野帳を作ることから始め、収穫調査にも大きく影響することから大変苦労しています。

12月に入り冬将軍が到来します。これから内業が中心になりますが、除雪の際は指差呼称等を実施して足元手元の安全管理をしっかりと行い、用水路に落ちないように気をつけ、春先の業務に支障が無いように健康管理に努め、体力作りも行っていきたいと思えます。